



東京消防庁
公式アプリ



町田消防署からのお知らせ



令和6年
2月号

【お問合せ先】

東京消防庁町田消防署
警防課地域防災担当
TEL 042-794-0119
MACHIDA FIRE STATION

「令和6年能登半島地震」発生！

「首都直下地震」の発生も予想されています

地震に対する10の備え

この機会に確認しましょう！

詳しくは
こちらの
QRコードへ



→身の安全の備え

① 家具類の
転倒・落下・移動
防止対策を
しておこう



② けがの防止対策
をしておこう



③ 家屋や塀の強度
を確認しておこう

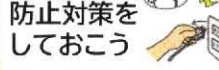


→初動対応の備え

④ 消火の備え
をしておこう



⑤ 火災の発生の
早期発見と
防止対策を
しておこう



⑥ 非常用品を
備えておこう



→確かな行動の備え

⑦ 家族で話し
合っておこう



⑧ 地域の危険性を
把握しておこう



⑨ 防災知識を身に
つけておこう



⑩ 防災行動力を
高めておこう



家具転対策

今こそやろう！！

一、ケガを防ぐため

転倒・落下・移動した家具類がぶつかり、
負傷する原因となります。

一、避難の妨げをなくするため

部屋の出入口付近に家具類を置くと、転倒したり移動
した家具類が出入口を塞いで避難が困難になります。

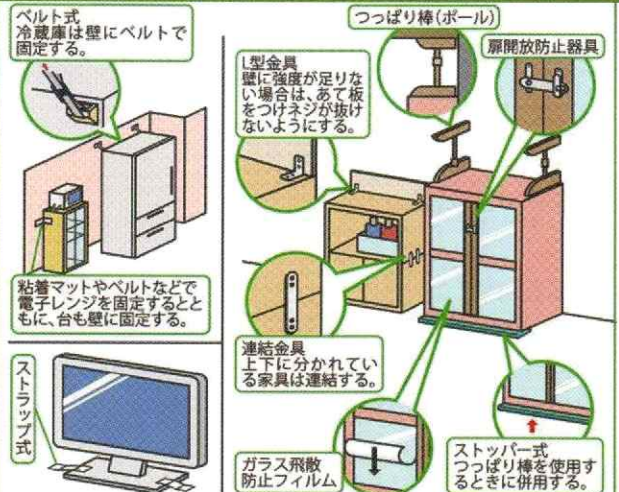
一、火災の原因をなくするため

ストーブや電灯等の高い熱を発する
電気器具に物が落下し、スイッチが
入ったり、電気器具が倒れて布団等に
接触して火災になることがあります。

どうして
必要なの？



家具類の転倒・落下・移動防止対策の例



※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

初期消火訓練

どうして必要なの？



一、自分たちで守るため

大地震時には、消防隊が到着できない可能性があります。小さな火のうち
に、みなさんで消火できれば、延焼拡大を防ぎ、被害を最小限にできます。

一、消火器とスタンドパイプを使えるようにするため

消火器とスタンドパイプはみなさんのための大きな武器です。まずは、
基本的な操作方法を訓練し、初期消火要領を身に付けておきましょう。

一、地域の団結力と防災行動力を高めるため

次のステップは、みなさんが実際に住んでいる地域で火災が起こったこと
を想定して行う、発災型の『まちかど防災訓練』です。実践的な訓練で、
地域の団結を深めて、防災行動力を向上させましょう！



令和5年(1月1日~12月31日)の状況(町田消防署管内)

火災状況	火災件数	傷者	死者	焼損床面積	建物火災件数	その他 23件	電気設備 23件	建物火災 出火原因	救急状況	出場件数	救護人員
	143件 (+13)	16名 (-8)	5名 (+1)	1,187㎡ (-550)	75件 (-18)	たばこ 6件	75件 放火 8件	ガス器具 15件	23,398件 (+1,383)	19,294名 (+1,405)	

※ () は、昨年同時期比

※ () は、昨年同時期比